４宇企第 2951 号
令和５年２月２日

関係各位

宇和島市総務企画部 企画課長

「宇和島市高校生まちづくり課」クラウドファンディングの実施について

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、宇和島市内の高校生で構成する「宇和島市高校生まちづくり課」では、平成 30 年７月豪雨の経験から、地域を元気に、笑顔にしたいという第１期生からの思いを代々引き継ぎ、今年度の第５期生におきまして、地域の素材や調理方法を活かした防災缶詰を製作しました。

つきましては、下記のとおり、クラウドファンディングを通して販売しておりますので、生徒たちの思いやアイデアが詰まった商品をぜひご購入いただき、高校生まちづくり課の活動を応援していただきますよう、お願いいたします。

記

・募集期間：令和５年２月 20 日（月）まで
・目標金額：500,000 円　※目標達成後も継続します。
・支援方法：クラウドファンディング（CAMPFIRE 内）
https://camp-fire.jp/projects/view/643252　QR コード
・商　　品：①「この大学芋　おいしいもん」
宇和島産紅はるかのペースト
②「華麗に疲労鯛散　おつカレー」
宇和島産真鯛使用のカレー
③「皆で「ライスタイム」」
宇和島産真鯛使用の鯛めし
④「鯛とおみそ お好きでしょ♪」
宇和島産真鯛使用のちゃんちゃん焼き

「高校生まちづくり課」プロジェクトとは

平成 30 年度にスタートした若者地元定着事業「おかえりプロジェクト」の一つ。市内高等学校（中等教育学校含む）の生徒が「高校生まちづくり課政策企画主事」として、「若者が地域に残れる、帰れるまちづくり」をテーマに、自分たちのまちの将来を考えています。ワークショップ等を通じたアイデアの事業化提案など、直接まちづくりに携わることで、「地域との関わり合い」と「ふるさとへの想い」を醸成することを目的としています。

宇和島市総務企画部 企画課　移住定住推進室
担当：牧野・赤松
Tel：0895-24-1111（内線 2510）
Fax：0895-20-1905
E-mail：iju@city.uwajima.lg.jp

「高校生まちづくり課」が贈る
“その時”を笑顔にする
防災ギフト

FROM UWAJIMA

クラウドファンディング、 チャレンジしています！

募集期間 2023年 2月 20日まで

募集金額 500,000円

ご支援はこちらから
返礼品を進呈します！

私たちは、またいつか来るであろう“その時”に備えるため、先輩から引き継いだアイデアを防災缶詰というカタチにして、皆さまにお届けします。地域ならではの素材、調理法を活かした製品には、私たちの想い、工夫もたくさん込められています。

【企画・運営】宇和島市高校生まちづくり課
宇和島市役所企画課　移住定住推進室内
TEL：0895-24-1111（代表）

CAMPFIRE　高校生まちづくり課　検索

20230202 愛媛新聞 8 面

元気満載!! 「防災缶詰」

「宇和島市まちづくり課」高校生開発

宇和島市の「高校生まちづくり課」の高校生が、宇和島産のマダイなどを使った防災缶詰を開発した。西日本豪雨災害の経験から、地域を元気にしたいとの思いを込めた商品で、多くの人に活動を知ってほしいとクラウドファンディング(CF)で販売している。

開発した防災缶詰を手に「多くの人に活動を知ってほしい」とアピールする高校生

試作重ね4種 CFで販売

2018年度に市が立ち上げたまちづくり課は、高校生が主体となり「住みたい、帰りたい町」を考えるプロジェクト。各年度の参加者がワークショップを通じて宇和島の産業や歴史・文化を学び、将来のビジョンマップ作りなどに取り組んできた。

22年度は、先輩の積み上げてきた構想を形にしようと5期生の5校計27人が防災缶詰作りに挑戦。加工食品製造のコバヤ(同市桝形町2丁目)が協力し、高校生のアイデアから試作や試食を重ねて4種類を作り上げた。

完成したのは、サツマイモの紅はるかをペーストにした「この大学芋 おいしいもん」▽マダイを使ったカレー「華麗に疲労鯛散おつカレー」▽たい飯の素「皆で・ライスタイム」▽マダイを使ったちゃんちゃん焼き「鯛とおみそ お好きでしょ♪」。

紅はるかを使った缶詰について宇和島水産高1年の山下羅衣さん(15)は「災害時でも甘いものを食べてほっとしてもらいたい」と説明。たい飯の素に携わった宇和島東高2年の山下颯人さん(17)は「ご飯を炊く時に入れるとたい飯になる。そのままでもおいしい」とアピールする。

どの缶詰も、開けた時に目でも楽しんでもらおうと、ニンジンなどの野菜は星やハートの形にカットした。パッケージのデザインも生徒が手がけ、宇和島らしさを盛り込んだ。

ふだん別々の学校に通う高校生たちが協力して作り上げた商品。宇和島東高津島分校2年の酒井永愛さん(16)は、缶詰を味わってもらうことで「一緒に宇和島を盛り上げてほしい」と呼びかけていた。

缶詰はCFサイト「CAMPFIRE(キャンプファイヤー)」で販売中。4種セット3千円など、さまざまな組み合わせを準備している。目標金額は50万円で、期間は今月20日まで。達成後も販売は継続する。(阪和舞)

宇和島産のマダイなどを使った防災缶詰

マダイのちゃんちゃん焼き「鯛とおみそ お好きでしょ♪」(コバヤ提供)